

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 有限会社宇城木材産業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・経営理念や経営目標は事務所に掲示すると共に、毎朝の朝礼にて共有、実践している。								8	9											17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・現場での朝礼にて、事例等を交えながら法令遵守の重要性を全従業員に発信している。																				16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努めるため請求書、見積書等、法人印が必要な資料については代表者が確認を行っている。																				16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・代表者により、SDGコンパスに基づいたバリューチェーン分析を実施し、企業活動が社会・環境に及ぼす影響の把握に取り組んでいる。																				16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産に関するものは外部漏洩が発生しないように都度指導を行っている。								8.2	9											16			
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報については施設が出来る箇所に保存し、管理者を限定して漏洩防止に取り組んでいる。																					16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・ロータリーや宇城木材協会、校友会、熊本県木材青年連合会に加入し、環境問題・社会問題等の情報共有を行っている。																				16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・SDGsの取組みについて取引先と事例共有を行い、自社のSDGs推進の参考にしている。					5				8		10		12	13	14	15	16	17					
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・災害に備えBCPを策定し、定期的な見直しを行っている。											9			11				13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・熊本県木材青年連合会等、会合への参加やSDGsコンサルティング等の受講を通じ、後継者の指導、育成に取り組んでいる。									8	9												17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								5			8					12	13	14	15	16	17				
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用条件を含め、社内で差別を行わないこと、各種ハラスメントの禁止を就業規則に記載している。 ・性別や年齢等による差別や、人権侵害のない職場環境が整備されている。				4.3	5.1			8.5													16.1	16.2	16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務中の事故を防ぐため、工事の際は先行して足場を組み立てを徹底している。 ・「安全第一」の看板を掲げ、安全に対する意識醸成を図っている。 ・製材所の機械については緊急停止機能を備えている。				3					8.8														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金を実現している。						5.5			8.5													10.2	10.3
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・時間外労働を行わない社内体制を整備し、長時間労働を防止している。 ・育児休暇は性別を問わず取得可能であり、ワークライフバランスを推進している。				3		5.5			8.5													10.3	
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・フォークリフトの資格や玉掛け技能講習、小型移動式クレーンの免許取得支援を行っている。 ・ジョブローテーションを行い、複数の機械を使えるように教育を行っている。					4	5.5			8	9													
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断の費用負担、定期的な朝礼により従業員の心身の健康を把握するように心がけている								3		8													17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・高齢社員の再雇用制度、柔軟な勤務体系整備により、多様な人材が活躍できる環境整備に取り組んでいる。					4.4	5.1			8.5													16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・ウェブ会議等を導入し、新しい生活様式への対応を行っている。									3		8	9.1			11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・コンピュータ制御によるモルダーを導入し、原木特質に左右されない均一性の高い製品提供を行っている。											8	9.1				11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●													3	4				8	9						

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 有限会社宇城木材産業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・のご屑等の廃棄物については家畜の敷材や酵素風呂の原料としてリサイクルを行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・スマートメーターの設置により電力の見える化を行い、節電に取り組んでいる。 ・【予定】2023年9月より簡易計算シートを用いて自社のエネルギー使用量を把握し、削減に取り組む。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・環境に配慮したトラックを使用し、温室効果ガスの排出量抑制に取り組んでいる。 ・【予定】2023年9月より簡易計算シートを用いて自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減に取り組む。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・自社山林にて再造林活動を実施し、生物多様性に取り組んでいる。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・のご屑を家畜の敷材や酵素風呂の原料として提供し、再生利用に取り組んでいる。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事業所では、節水器具の取付けや従業員への呼びかけにより節水に取り組んでいる。 ・適切な森林の管理により、地域の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・事務所での紙使用については再生紙を使用し、裏紙の活用を行っている。 ・事務用品を購入する際は、グリーン購入に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・再造林活動を行い、緑の創出と保全・管理に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・エネルギー効率が高く、安全性・静音性に優れたキュービクルを導入し、電力消費量を毎時計測し、電気見える化に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・自社山林の循環利用を促進し、持続可能な森林利用を行っている。						6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・自社山林を整備し、植林等の森林整備活動に取り組んでいる。						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4			11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.17		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 有限会社宇城木材産業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・リスクアセスメント（業務中の危険箇所を担当者が記録する）の実施により、業務の安全性向上に取り組んでいる。			3.9						9			12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・手すりやスロープを設置し、誰もが利用しやすい環境整備を行っている。									9.1	10	11.7									17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・県産材の販売を通じて県内の地産地消を推進している。		2.3					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15					17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・事務所建物は木造であり、木質化を積極的に推進している。							7					12.2	13.1			15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・山林の保全、加工、販売を一気通貫で行い、森林資源の循環利用を促進し、健全な森林の育成、国土保全、水源涵養、地球温暖化の防止に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3	2.4						8.2	9.2	9.4		11.a	12.2		14	15				17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・業界団体のボランティアへの参加等により社会貢献活動を行っている。 ・地域の祭り等へ協賛を行っている。 ・バス停等に自社で製造したベンチや椅子の寄付を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・従業員に対してハザードマップを周知している。				4							11.5		13.1					16			
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・従業員が地域消防団の活動に参加しており、地域防災の担い手として応援出来る体制を整備している。	1.5			3	4						10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・ハイブリッドボードを木枠にはめて架台に載せたスマートアーク（水に浮揚できる住宅兼「災害時避難箱舟」）の販売を行い、防災に取り組んでいる。									9		11	12	13.1								
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・月1回取引金融機関と共にSDGs委員会を開催し、社内のSDGs推進に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・学生の職場体験や職場見学を受け入れ、職業の学びの場を提供している。				4					8.6		10.2									17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・廃業した製材所を購入することで地元雇用を推進し、若者の県内就職を促進するための取組みを行っている。				4.4					8.5	8.6										17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・出前授業による木工教室で、地元の子供への教育活動を行っている。 ・木造建築の人体、環境への影響や木材バイオマス燃料の利用拡大を普及するための「木育」活動に参画している。		2		4.3	4.4	4.5			8.6		10.2		12	13	14	15				17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。